



カッター粒剤

農林水産省登録 第15024号

1/2

平成24年6月27日現在

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	DBNを含む農業の総使用回数	DCMUを含む農業の総使用回数
桑	—	一年生雑草 ヨモギ、 ギシギシ等の 多年生広葉雑草 スギナ	春期又は夏切り後の桑の発芽前あるいは秋冬期(雑草発生前～発生初期)	砂土を除く全土壌	6~8kg/10a	1回	全面土壌散布	1回	1回
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道等	一年生雑草 多年生広葉雑草 スギナ	雑草発生前～発生始期	—	10~20kg/10a	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	3回以内	3回以内



アグロ カネショウ株式会社

<https://www.agrokanesho.co.jp/>



効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 雑草が大きくなると効果が劣るので、雑草の発生前から発生初期までに使用する。
- 本剤はイネ科雑草に対しては効果が劣るので、イネ科雑草が優占する場所での使用はさける。
- 土壌が乾燥していると効果が不十分となるので雨上り等の土が湿った状態で使用することが望ましい。
- 散布に当たっては散布むらが生じないように全面に均一に散布する。薬剤処理後、中耕すると薬害を生じるので土壌混和は行なわない。
- 本剤は処理後、地表面から薬剤が気化し気象条件などにより滞留した場合、下枝の葉や果実に薬害を生じるおそれがあるので風通しの悪い凹地など空気の滞留しやすい場所での使用はさける。
- 次のような場所では薬害のおそれがあるので使用をさける。
 - ① 極端な砂質土壌。
 - ② そ菜（かぼちゃ、うり類など）、花き（菊など）、ホップなどの栽培園に隣接している場所及びその栽培予定地。
 - ③ 新植後3年未満又は間作予定の果樹園、桑園。
 - ④ ハウス、温室などの施設内及びその周辺並びにそれらの設置予定地。
 - ⑤ 移植後間もない樹木の周辺。
- 桑に使用する場合、特に以下のことに注意する。
 - ① 本剤は年1回の使用とし、連年使用は行なわない。
 - ② 葉にかかると薬害を生じるので、給桑葉にはかからないように注意する。
- 公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことに注意する。
 - ① 激しい降雨の予想される場合は使用をさける。
 - ② 本剤の飛散あるいは流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分に注意して散布する。
 - ③ 水源池等に本剤が飛散・流入しないように十分注意する。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受ける。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する。

治療法…該当なし

魚毒性等…水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

保管…密封し、直射日光をさけ、種子、苗、肥料、他の農薬などと隔離し、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

